

(No.2,877) 〈マーケットレポートNo.5,674〉 2017年10月17日

情報提供資料



おかげさまで15周年、エスマム

# 今日の**トピック** 情報技術セクターがけん引する米国株式市場 好調な企業業績が相場を下支え

## ポイント 1

### 史上最高値を更新中 決算への期待などが株価を押し上げ

■ 米国株式市場は好調です。代表的な株価指数であるNYダウ工業株30種、S&P500種、ナスダック指数は揃って史上最高値を更新しました。政策面での不透明感は燻ったままですが、好調な米経済を背景に情報関連セクターを中心に上昇したほか、7-9月期決算の上振れ期待などが株価を押し上げました。

# ポイント2 情報技術セクターが好調 予想株価収益率は徐々に上昇

- S&P500種をセクター別に見ると、情報技術セクター や金融セクターがけん引しています。2016年1月4日 から2017年10月16日までの騰落率を見ると、S& P500種が+27.1%であるのに対して、情報技術 +48.0%、金融+38.4%、素材+35.7%、一般 産業+34.2%が堅調です。
- 一方、予想株価収益率(12カ月先予想ベース)は10月16日現在、S&P500種が18.0倍、情報技術セクターが18.4倍とほぼ同じ水準で、じりじりと上昇しています。情報技術セクターは新たな技術革新を背景に利益の成長が見込まれており、過度な期待だけで上昇しているわけではないと考えられます。

## 今後の展開

## 増益基調の継続に期待 情報技術セクターが引き続きけん引役

- 7-9月期の決算が発表されはじめました。トムソンロイター(10月16日)によれば、7-9月期の企業業績は前年同期比+4.1%にとどまる見通しですが、続く10-12月期は同+12.3%と再び2桁の増益が見込まれています。
- なかでも情報技術セクターは7-9月期以降も2桁の 増益が続く見通しです。引き続き情報技術セクターが 相場のけん引役となりそうです。

#### (ポイント) 【S&P500種と業種別株価指数】



16/1 16/4 16/7 16/10 17/1 17/4 17/7 17/10 (注) データは2016年1月4日~2017年10月16日。 (年/月) (出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



16/1 16/4 16/7 16/10 17/1 17/4 17/7 17/10 (注1) データは2016年1月4日~2017年10月16日。 (年/月)

(注2) 予想株価収益率=株価÷1株当たり予想利益。

1株当たり予想利益は12カ月先予想(Bloomberg L.P.予想)。 (出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

#### 【S&P500種、主要業種の1株当たり予想利益】

(前年同期比、%)

				(133 11 37 132-01 1-07		
	2017年			2018年		
	4-6月 (実績)	7-9月 (予想)	10-12月 (予想)	1-3月 (予想)	4-6月 (予想)	7-9月 (予想)
S&P500種	12.3	4.1	12.3	10.8	10.0	15.4
情報技術	18.3	12.3	12.2	14.9	12.3	12.7
金融	12.2	<b>▲</b> 10.3	15.6	9.7	9.5	32.3
一般産業	5.5	5.1	10.9	14.0	9.7	8.3
素材	6.1	3.5	24.7	19.7	16.1	27.0
エネルギー	563.9	140.6	97.4	32.1	55.8	36.0

(注1) データは2017年4-6月期~2018年7-9月期。

(注2) 予想はトムソンロイターI/B/E/S (2017年10月16日発表)。 (出所) トムソンロイターのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

#### ここも チェック!

2017年10月11日 金利上昇局面での米国中小型株市場 2017年10月 6日 好調な米国中小型株市場

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。